

大いなる飛躍へ

 JA上川中央



菊水地区
阪本 航大 さん

2014
NO.78

9

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125

Tel(01658)6-5315

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>

編集・宮 農 振 興 課

各所で愛別・上川をPR!!

農業試験場公開デーに特産品が集合



8月12日、上川農業試験場で第19回農と食の祭典が開催されました。当日は、各種イベントの他に当JAをはじめ、比布町・当麻町の各JAと旭川農業高校が中心となり、地元の特産品をPR販売しました。

愛別町からは、各種きのご及びもち・うるち米、上川町からは、大雪高原牛・プリン・アイス・朝もぎ母さんの会の野菜などが品を揃えました。

今後も催事などを通して地元のおいしい味覚を多くの方にお届けしていきます。

「きのご」PR…東川町の祭りにも参加

8月9～10日、東川町内で開催された「どんとこい祭り2014」に愛別きのご振興会の若手メンバーが参加し、きのごのPR活動を行いました。

どんとこい祭りのイベントは、水風船をぶつけ合う「水の乱」やステージイベント・花火大会などもあり、見ても楽しめるお祭りで沢山の来場者で賑わいました。

出店では、初お披露目となる「きのごかきあげ丼」と「きのごことホルモンの炒め物」を販売し、来場者の方々は「とっても美味しかったよ」といったお言葉をいただきました。



女性農業者が主役…大雪高原まつり



8月1日、Aコープ上川店駐車場で朝もぎ母さんの会が主催する大雪高原まつりが行われました。

上川町内の女性農業者が持ち寄った自慢の「朝もぎ野菜」と特産品「大雪高原牛」のサイコロステーキや「大雪そば」も販売されました。

当日は天候も良く、恒例の新鮮野菜や大雪高原牛が当たる抽選会も開催されました。

夏だ!お祭りだ!旬の味覚で盛り上げる… 上川管内

あいべつ夏まつり開催

8月14日、愛別町ふれあい通り及び蔵ら裏イベント広場で第21回あいべつ夏まつりが行われ、当JAも参加しました。

当日は、金融共済課金融共済係の田海史花職員の司会のもと、スムーズにイベントが開催され、JAでは、「なめこ掴み取り」や「愛別夏の陣」などへの催し協力の他に出店もし、地元祭りを一緒に盛り上げました。イベントの中では、愛別町開拓120周年記念にちなみ、もち米120kgを使ったもちまきが、愛別町米麦生産振興協議会（土屋陽一会長）主催で開催されました。

出店では、焼き鳥やビールその他に自慢の特産きのことを使った「きのこホルモンの炒め物」を販売、楽しい食も提供できました。

第39回納涼盆踊り大会ではJAからもエントリーをし、団体の部でみごと第2位を獲得することができ、終日にぎやかな楽しいお祭りとなりました。



出場者紹介

盆踊り

左上から
堀内スネ夫・多羽田ジャイ子・
舟山ジャイアン・川村ドラえもん
右下から
莖津しずか・
三上のび太



誰でも作れるきのこ料理を… 北海道新聞 道北味紀行

4種類のきのこを加えた炊き込みご飯



材料（4人分）

米	3合	牛肉	100g
マイタケ	100g	焼き肉のたれ	大きじ2杯
ナメコ	50g	濃縮つゆ	100cc
エノキダケ	100g	水	400cc
シイタケ	2玉		

<作り方>

- ①マイタケは食べやすい大きさに裂く。
 - ②シイタケは薄くスライスする。
 - ③エノキダケは石突きを落とし、3分の1に切る。ナメコも石突きを落とす。
 - ④牛バラ肉を食べやすい大きさに切り、ポウルに入れる。
 - ⑤ポウルに焼き肉のたれを加えて、肉に絡ませる。
 - ⑥といたコメを入れた釜に、濃縮つゆを水で薄めたものを入れて炊き上げる。
- ※食べる前に小ネギをちらしてできあがり。

北海道新聞のコーナー「海の幸・山の幸 道北味紀行」で愛別町のきのこの取材がありました。

誰でも作れるきのこ料理を紹介してほしいとのことで、催事でのメニューを考えたりと、料理上手な西村和美さん（農事組合法人ヒット）におすすぬな一品を作っていただきました。

今回の料理は4種類のきのこを加えた炊き込みご飯で「きのここと牛肉を混ぜ、たれで味付けして炊くだけ」とお手軽な一品。

家族サーブに男性が作るのもいいかもしれません。

ポイント、炊き込みに合う「ななつぼし」と牛肉に絡ませる焼き肉のたれ!!

新聞記事は8月12日に掲載されました。



劇団四季『オペラ座の怪人』は凄かった…

JA女性部愛別支部 一日研修開催



7月30日、JA女性部愛別支部の一日研修があり、今年は札幌市で北海道コカ・コーラポトリング株式会社札幌工場の見学と、北海道四季劇場で劇団四季によるミュージカル「オペラ座の怪人」を鑑賞しました。

コカ・コーラ札幌工場では、自動販売機の機能紹介や製造ラインの見学・説明、コカ・コーラ製品の試飲、コカ・コーラの歴史や誕生にまつわるDVD上映がありました。

『オペラ座の怪人』のミュージカル鑑賞では、劇団四季が創り上げる装置、衣装、音楽が一体となり迫力のある作品になっていました。

部員43名が参加し、とても充実した研修となりました。



女性農業者のJA参画について… JA上川地区女性部研修会



8月8日、JA上川地区女性部研修会が旭川市農業会館で開催され、JA北海道中央会旭川支所 荒川支所長より「JAのあらましと連合会組織の役割」についての講演とレクリエーションの中で、JA・女性部に関するクイズ大会と「女性農業者のJA運営参画について」をテーマに組織強化に関するグループ討議がありました。

グループ討議では、「女性農業者のJA運営参画ということまで話がでていますが、女性部の中だけの話だと意味がないので、JAとの懇談会が必要ではないか」「女性の立場の弱さを感じるので男性の意識改革が必要ではないのか」との声などのグループからもでていました。

JA上川中央産米をPR… 愛別町米麦生産振興協議会道内実需者訪問実施



8月6～7日にかけて、道内の取引先であります「株式会社食創」「北海道中央食糧株式会社」「伊藤忠食糧株式会社北海道支店」へ平成26年産米の出来秋を前に、米麦生産振興協議会から土屋米麦会長、鉛口・岡田副会長、JAから野口専務、愛別町役場から山中産業振興課長及び河合係長に同行いただき実需者訪問を実施しました。

訪問先では、今年度の作柄及び販売情勢等について情報交換を行い、JA上川中央産米の販売促進を図ってまいりました。



エコ
安全運転と eco を学ぼう!



追加・延長・補習料・再検定料 **無料** の安心プラン

普通免許
MT・AT限定

ヤングプラン

技能試験免除

- 普通一種/二種
- 中型一種/二種
- 大型一種/二種
- 大型特殊
- けん引
- 普通二輪
- 大型二輪



お申込は当JA窓口へ



公安委員会指定 **北海道クミアイ自動車学校**

旭川市永山北3条8丁目零番地 ☎0120-887-931
http://www9.plala.or.jp/kumiai/ TEL 0166-48-1141

農作業風景



大根選果作業

JA上川支所 大根共同選果場



大根収穫作業

上川町大根生産組合 (旭ヶ丘地区)



ソバ収穫作業

黒田雄次さん (豊里地区)



WCS収穫作業

(合同) Aの一 (豊里地区)

今月の表紙

阪本 航大さん (菊水地区)



- 出身地 / 上川町
- 家族構成 / 祖父、祖母、父、母、妹
- 生産物 / 肉牛 (繁殖)・大根 (大根生産組合)

○ 農業をしようと思ったきっかけは？

子供の頃から上川町で育って、いつまでもこの町で暮らしていきたいという気持ちがありました。農業は、とても魅力的な職業なので実家を継ぐことを決意しました。

○ 農業をしてみて思ったことは？

農業は、経験を積んでいくことが大切だと感じています。

これからは、新しいことにどんどん挑戦して経験を積み重ねていきたいです。

○ 1週間くらい休みが取れたら、どんなことをしてみたいですか？

自然の景色が好きなので、自然豊かな国へ行って観光したいです。

○ 将来の夢は？

いつか、自分の作る農畜産物をブランド化してみたいです。



AIBETSU

第28回 あいべつ
「きのこの里」
フェスティバル

2014. 9.14日
雨天決行!

会場 / 愛別ダム「きのこの里」広場

フェスティバル開催時間 AM 10:00 ~ PM 2:30
きのこ牛肉の食べ放題 AM 11:00 ~ PM 1:30

※大変混雑が予想されます ※愛別駅前・愛別町役場前から連絡バスをご利用下さい ※お早めにお越し下さい

ユネスコ無形文化遺産の
「和食」

生でよし、漬けてよしのキュウリ

夏野菜の定番として日本の食卓になくはならないのがキュウリ。歴史は古く、紀元前4000年にメソポタミアで栽培されていました。その後、インド、中国などを経て日本へは1500年ほど前に入ってきました。江戸時代末期までは完熟してから食べていたため、苦味が強く人気はありませんでした。しかし、幕末に砂村（現在の東京都江東区）で品種改良が行われ、味のよいキュウリができて一気に人気が出てきました。キュウリは全体の90%以上が水分でビタミンC、カロチン、カリウムなどの栄養素が含まれていますが、含有量は多くありません。しかし、歯ごたえのある食感とすっきりとした味わいがあり、夏場の水分補給として珍重されています。生のまま味噌をつけたり、サラダ、酢の物、和え物、塩もみなどのほか、漬物も人気があります。中華では煮物や炒めものにも使われるなど、幅広い料理法が特徴となっています。新鮮なキュウリで夏バテを乗り切りましょう。

（監修＝女子栄養大学栄養クリニック教授 蒲池 桂子）

2015年ミラノ国際博覧会のテーマは「地球に食料を、生命にエネルギーを。」Aグループは、「共存する多様性」をテーマに掲げる日本館への協賛を通じて、「多様な農業の共存と食料主権の尊重」を世界に発信し、世界の食料問題の課題解決に貢献していきます。

ひとく守必経
「冷汁」でご飯が進む

簡単にできる夏バテ対策料理として根強い人気があるのが「冷汁」で、ご飯にかけて食べます。宮崎県の郷土料理として知られていますが、似たような料理が各地にあります。すりばちにゴマや味噌を入れてよく摺（す）って輪切りにしたキュウリを入れる点が共通しています。シソやミョウウガを入れるとさらに風味が増し、ご飯が進む一品となります。

©よい食P

JAPAN EXPO 2015 MIANO

歩夢

第7回
「昭和～減反政策の農業」

きのこ栽培

開拓から76年後(昭和45年)、町の農業や商業なども高度経済成長で繁栄し、農業の大型化やトラクター時代が本格的に始まり農業の収益性は向上しましたが、昭和42～43年産の大豊作による“古々々米”などの過剰米問題をきっかけに減反や生産米価据え置きなど米の生産調整が始まりました。当初の生産調整は単純休耕がほとんどで愛別町では348ha・上川町では297haが減反され、昭和49年には稲から作物転換を計画的に推進する転作田に奨励金が交付されようになると転作田では粗飼料が主に生産されるようになりました…

開拓から78年後(昭和47年)、愛別町では農家の一大決心がありました…「えのき茸」の試験栽培が行われ、翌年には第二次農業構造改善事業の補幹作目として全国で初めて国の事業指定を受け“えのき茸”専営6万本規模の施設建設が進み、昭和49年に本格的な愛別町の“きのこ”作りがスタートしました。

昭和45年にも水稻を基幹作物にプラス方式で所得拡大と有機農業(土づくり)を推進する養豚・肉牛大型団地の育成が進み、「米」に次ぐ作目、「きのこ」と共に「畜産」の愛別農業三本柱が整い始め産地が確立されていきました。

水田の転作強化が進む昭和49年11月の初めには、降雪によって約30haの稲が倒伏して雪の下となり自衛隊に援農を依頼するなど延べ3,000人による稲刈りも行われました。

開拓から81年後(昭和50年頃)の上川町では、旭ヶ丘地区で事業総額約25億円の大雪区域畜産基地の建設が始まりました。稲作転換が進む中で立地条件を活かし畜産経営に取り組む農家が多く、また未利用地の開発や町・道有林など広大な土地利用が考えられるなど条件が備っていたことから全国でも最初の着工地区として実施されました。

着工から3ヵ年をかけ、北アメリカ・カナダなどからアバディーンアンガス種の繁殖素牛が910頭導入され生産体制が整備され、平成13年まで大雪アンガス牛として販売されました。

昭和50年に大雪ダム(上川町)が完成し、昭和61年に愛別ダム(愛別町)が完成すると開拓以来幾度も集中豪雨によって河川が氾濫し作物と共に土地や家屋をも押し流し、荒々しい爪痕を残した石狩川と愛別川も新たな多目的ダムによってその姿も変わりました。

減反政策によって水田中心だった町の農業にも新たな基幹作目が誕生しましたが、昭和48年の第一次オイルショックを迎えるとそれに続くように日本経済は低成長経済となり、昭和50年代に入る頃には「攻めの農業」から「守りの農業」へと町の農業姿勢も転換しなければならなくなりました。水田の生産調整に始まり、農畜産物の貿易自由化による圧力・国内自給率の低下・原油値上がりによる生産資材高騰など農業は一段と厳しい情勢に直面しました。

この連載は「愛別町史」、「上川町史」他を元に編集・作成しています。

するーらいふ

暑い夏は終わりなのか、幾分涼ぎ易くなったお盆明けの朝、朝刊の社会面に昨日読んだ本の著者「横田早紀江」の写真が目にとまった。「めぐみと私の35年」の題名から分かるように、海の彼方の半島の北の国で元気で愛娘の思い

出と、今の著者の心を綴った単行本である。副題には「死ぬ前にもう一度、娘に会いたい。」

帯の半分には「私に残された時間は、もう短い。」と親の思いが添えられている。横田家には、娘の13歳での失跡までは、ごく普通の家庭生活があった。娘がいつもの時間に戻って来ない。用事が出来たのだと判断する。時間が経過する。仲間に電話する。不安が交差する。良からぬ結果を思う。1日が過ぎ2日が過ぎる。海辺の町全域で捜索が始まった。手掛かりのない毎日が過ぎて行く。生きる力が萎えて行った。6年後、夫に東京への転勤命令が下る。失踪した娘の部屋は、そのままにして置きたかった。娘との繋がりが消える想いだった。

手掛かりを求め歩いた、新潟の海辺の町並みが、遥か遠くなる想いがした。娘が失踪した時の著者は41歳、片時も忘れない娘の安否は分からない。20年の月日が流れた。国内の小さな町の事故だと想い描いていることが覆った。夫婦に、対岸の半島の北の国のニュースが届けられた。その国を脱出した人の話が、夫妻に伝えられたのだ。闇夜の子船の船底に押し込まれ、自由を奪われ「めぐみちゃん」は、海を渡った半島の北の国に拉致されていたのだ。うれしい知らせの反面、個人の行動ではどうにもならない出来事だった。その日のニュースは全国に駆け抜け、間もなく横田夫妻は、署名運動の先頭に立つ立場におかれた。退職した身のご主人と、純粋に娘の身を案ずる母は、先頭に立って大衆の前で訴えた。子を思う親達の切なる愛情が、この国を動かした。

海を隔てた半島の北の国から、第1陣・第2陣の帰国者が、闇の時間を超えて故郷の土を踏んだ。しかし、その中には愛しい娘の姿はなかった。著者の家族に死亡のニュースが流れた。娘の現地での結婚、孫の存在が伝わった。20年前の娘の失踪後からは、京都の下町育ちの穏やかな性格だけでは、到底乗り越えて行けるものではなかった。数多くの風評を受けながらも、わが娘を抱き止めることを信念に、夫婦で戦って来た。真摯な再調査が、かの北の国で今続けられている。刊行された単行本の表紙と、作品の中程には、著者の娘「めぐみちゃん」の13歳までの写真が掲載されている。一面の黄金色に色付く稲穂が風に靡く。彼女は故郷の、実りの秋の景色を忘れずに抱いているだろう。



※このコラムは連載です。

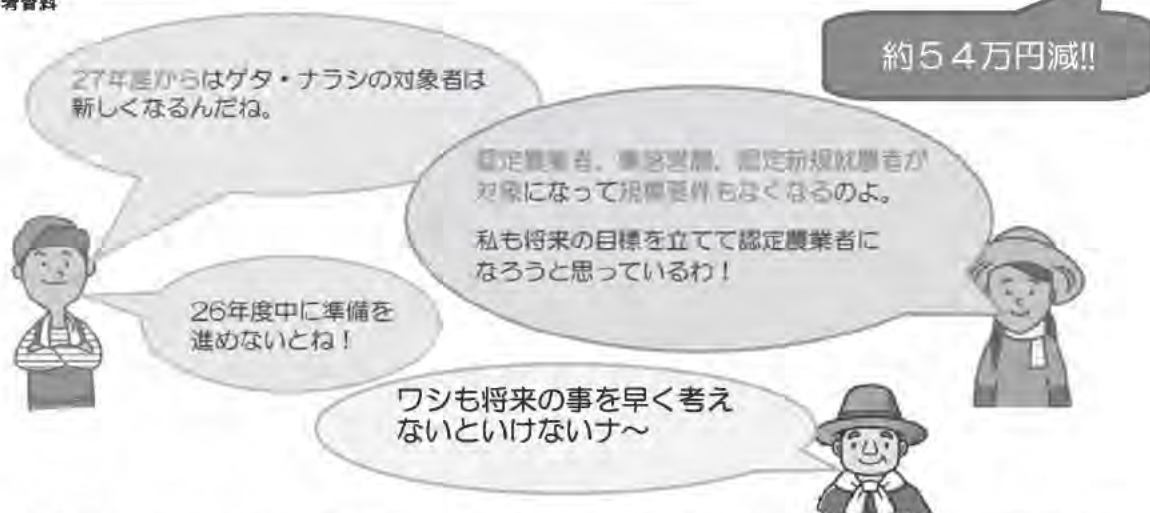
平成26年産以降の経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金については、以下のとおり一部見直しが行われ、新しい対象者要件で実施されます。

経営所得安定対策等	平成26年産		平成27年産
【ゲタ】 ①畑作物の直接支払交付金 (麦・大豆・てん菜・澱粉原料用ばれいしょ・そば)	全ての販売農家・ 集落営農が対象	≠	認定農業者、 集落営農及び 認定新規就農者
【ナラシ】 ②米・畑作物の収入減少影響緩和対策 (米・麦・大豆・てん菜・澱粉原料用ばれいしょ)	認定農業者又は 集落営農で一定 の経営規模要件	≡	認定農業者、 集落営農及び 認定新規就農者
【ナラシ移行】 ③ナラシ移行のための円滑化対策 (米)	米の直接支払対象者 のうちナラシ対策に 加入していない方	≠	26年産限り
④米の直接支払交付金 (米)	米の生産数量目標を 守った販売農家又は 集落営農が対象	≡	米の生産数量目標を 守った販売農家又は 集落営農が対象
【戦略作物助成】 ⑤水田活用の直接支払交付金 (麦・大豆・飼料作物・WCS用稲・加工用米・飼料用米)	全ての販売農家・ 集落営農が対象	≡	全ての販売農家・ 集落営農が対象
【産地交付金】 ⑥水田活用の直接支払交付金 (水田フル活用ビジョンに基づく地域裁量による産地づくり)	全ての販売農家・ 集落営農が対象 (一部認定要件等あり)	≡	全ての販売農家・ 集落営農が対象 (一部認定要件等あり)
⑦米価変動補填交付金	廃止		

(例) 水田転作で「そば」を3ha作付けする非認定農業者の助成は？

			平成26年産	平成27年産
①畑作物の直接支払交付金	(3等級)	30 俵 ×	13,190 円	395,700
	(規格外)	15 俵 ×	9,980 円	149,700
⑥水田活用の直接支払交付金		300 a ×	20,000 円	600,000
		計	1,145,400	600,000

※参考資料



【愛別町農業再生協議会・上川町農業再生協議会・上川中央農業協同組合】

JAのあゆみ 8月

- 1日 定例企画会議
大雪高原まつり
- 4日 全国監査機構監査（～8日）
- 6日 上川地区連合会長・農事組合長合同会議
- 7日 愛別町米麦生産振興協議会道内実需者訪問（札幌方面）
- 8日 愛別町米麦生産振興協議会道内実需者訪問（帯広方面）
- 12日 愛別町米麦生産振興協議会 無代
- 14日 あいべつ夏まつり
- 18日 愛別町米麦生産振興協議会 無代
種・直播視察研修（名寄市）
フレッシュミズ視察研修
- 20日 愛別戦没者慰霊祭
第4回農家経済対策委員会
平成26年度水稲収量調査・損害評価等に係る合同会議（愛別町）
- 21日 第7回定例理事会～役員作柄調査
- 22日 J.A青年部愛別支部 第2回例会
- 23日 組合員大感謝祭（上川地区）
コープさっぽろ産直交流会
第37回上川町ふる里まつり
- 25日 平成26年度水稲収量調査・損害評価等に係る合同会議（上川町）
内部審査協議会監査
（購買経済課～28日）
- 26日 東北北海道地区J.A女性組織リーダー研修会（～29日）
営農経済専門委員会
- 29日 組合員大感謝祭（愛別地区）
- 30日 大雪高原旭ヶ丘フェスタ2014（～31日）

第7回定例理事会

平成26年8月21日開催

- 1 報告事項
1名の脱退について報告した。
- 2 酪農畜産草地更新事業に係る参加申請について
2件の参加申請内容を報告した。
- 3 固定資産の取得について
上川支所管理金融の車輸入替について報告した。
- 1 組合員手続きの処理について
経過内容を報告し、取り進め等について承認された。
- 2 燃料手当の支給基準について
支給基準について承認された。
- 3 平成26年度産米出荷検査受入基本方針について
同地区の基本方針について承認された。
- 4 運送委託契約の締結について
ホクレントラックとの契約について承認された。
- 5 固定資産並びにリース資産の取得について
固定資産として本所22号倉庫の雪止めの取得について承認された。リース資産については、再検討を行うこととした。
- 6 第2四半期見直し計画について
見直し内容について報告し、承認された。
- 7 固定化債権の対応について
1件の債権回収内容について承認された。
- 8 平成26年度クミカン資金供給限度額及び貸越極度額の変更について
5件の変更内容について承認された。
- 9 平成26年度理事に対するクミカン資金供給限度額及び貸越極度額の変更について
1件の変更内容について承認された。
- 10 要領の一部改正について
貸出業務事務手続について承認された。

組合員のうごき

（平成26年8月21日現在）

正組合員戸数	390戸
総組合員数	2,657名
正組合員数	606名
うち団体数	35団体
准組合員数	2,051名
うち団体数	72団体

購買経済課 農機センター

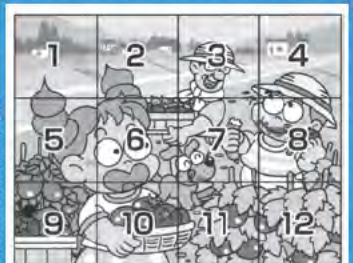
農繁期 休日対応のお知らせ

- 9月14日（日）
- 15日（月・祝）
- 21日（日）
- 23日（火・祝）

時間／8：30～12：30
日直制で対応します。
電話／6－5004

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を探しましょう。



先月の答え

- 1…大きい家がない
- 3…おじいさんの帽子が違う
- 7…キュウリが短くなっている
- 10…シャツの襟がない
- 12…トマトの数が少ない

出題・イラスト：酒井栄子